

( 2022 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 楽 只 ) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<p>外から帰ってきてからの検温・うがい・手洗い指導、ハンカチ持参の指導、手の消毒指導、後片付け指導、遊びのルール決め、汗拭きタオル持参指導</p> <p>ケガの予防指導、水分補給指導、傾聴</p> <p>宿題、おやつタイム、行事等みんなと一緒に活動する内容が年間通して多数、整理整頓</p> <p>交通安全指導、火の用心指導</p>	<p>同じ内容の取組ではあるが、1年生から3年生、4・5・6年生の発達に応じて年毎に理解をふかめさせ、力が身につくよう継続して取り組んでいる。手洗い、うがいに関しては外から帰ってきたら必ずできるようにコップを置き声かけをしている。徐々に定着してきている。各部屋の遊びで内容が重なった時には子ども同士で話し合いの場を持ち遊びの内容などを考える環境を整えることを心がける。</p> <p>集団活動の場では何を守るべきなのか考えながら指導を重ねている。年間を通して、また学童クラブの6年間をとおして何を獲得していけるようにするかという長期的な視野をもって子どもたち・保護者の方とともに生活づくりをしていきたい。また、統合育成においては、心配もあったが保護者や各学校とより深い連携ができたことで子どもの安全と安心、人権を守りながら生活を送ることができた。注意事項を話す時などは耳を傾ける姿勢が見られる。</p> <p>学童クラブは塾ではなく遊びが中心。宿題に集中できずすぐに大人を捕まえて一緒に取り組んでほしいという思いを持つ子どもが多い。集中して宿題に取り組める環境やスペースを作る改善していくべき。自分の帰り方などを各自で管理できるようにホワイトボードに名前マグネットを利用した物で示していく。ロッカーの整理整頓。児童館は遊びを通して健全育成を図る場というスペースがあるので各学校・保護者と連携して宿題のあり方などを検討する。</p> <p>なるべく人通りの多い所を通っての帰館が望まれる。学校から児童館までの帰る道は毎日決まった道を通って帰りなるべく一人では帰らないように子ども達に指導。交通ルールを守り常日頃から子ども同士で声を掛け合いながら生活をする。防犯、避難訓練など随時実施。</p>
	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<p>季節行事、工作など エコに関する話</p> <p>野外活動、社会見学、お泊り会</p> <p>入館式、卒館式、終わりの会など</p>	<p>季節行事は毎年同じ取組であるが、子どもたちが喜ぶ、楽しい取り組みであるのはもちろん、どのような行事なのかどのような文化が行事にあるのか明確にして、子どもたちとともに学び伝えていくことが大切である。</p> <p>館外活動を実施してきた中で、大学生が高学年・学童クラブの良い見本となり、身近な大人像を築いてくれているとともに障がいのある児童とない児童の架け橋となってきている。その姿から学ぶものは子どもたちにとって大きい。また、地域にある大学や施設を利用する機会も多く、遠方に行くだけでなく自分たちの地域を知る活動も大事にしていきたい。館外活動をするにあたりもっと子どもたちに企画段階から関わらし行事に対してもっと興味 関心を持たせる。</p> <p>保護者と一緒に児童館での様子や遊びなどを上級生から紹介してもらっている 入館式、卒館式の司会は3年生が担当をし自立をする手助けを心がけている。 スライドを利用した説明は行事内容、児童館の様子が分かりやすく好評。たくさんの学生も卒館、入館式に参加してくれたが、もっと学生にも担当を振り分け事業に参加してもらおう。みんな遊びのなかで、子どもたちの多様性を互いに受け入れ、自分自身がとるべき行動を各々が考えながら楽しめていた。終わりの会ではもっと子どもが話に興味を持てるような終わりの会になるようにしていく必要がある。子どもに司会を担当させるなど。</p>
	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<p>保護者懇談会、各学校・保育所との子どもの情報共有 介助者、ボランティア懇談会、保護者情報交換</p> <p>児童館親の会</p> <p>子育て・子育てネットワーク</p>	<p>保護者会の参加が少ないのが課題ではあるが、個別懇談を実施した成果もあってか保護者が児童館に出向いてくれる回数は増加している。個別懇談が当日参加できなかった家庭については後日必ず懇談を受けてもらっている。子育てについて語り合える関係づくりに、保護者の方の協力と連絡、広報の改善をはかりたい。介助ボランティアへの子どもの情報共有や的確なアドバイスなどの対応ができるよう職員の資質向上が必要になる。</p> <p>各行事のお手伝いなど保護者の方の参加が増えてきてはいるが保護者の方々が、保護者の方が中心となる地域の行事や児童館まわりの実行委員会などを発足していくべき。児童館側と密な連携をとって、地域の子育てネットワークを構築したい。保護者間との関係性も広げていく。</p> <p>家庭にも学校にも居場所のない子どもたちもおり、社会性を培う機会もうばわれている。児童館が、子どもたちの居場所であってほしいと願う。学校とは今まで以上に密な連携をとり、職員も研鑽・努力する必要がある。また、保護者との日頃のコミュニケーションを通じて、信頼をえなければ、ならない。さらに来年度は、具体的なネットワークづくりを目指していきたい。</p>

( 2022 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 楽 只 ) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

行事名	実施回数	学童クラブ児童					登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生				大人
(1) 生活援助機能 手洗い・うがいの指導 宿題・読書タイム 終わりの会	毎日 毎日 毎日														<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から帰ってきたら手洗い、うがい、消毒の保健衛生指導を行う。</li> <li>・1年生に関しては宿題時間を設けて学習習慣や学習の仕方などを身につける。</li> </ul>
(2) 子どもの育成推進 入館式練習 3月末より開始 入館式	毎日	1	12	8						2	2	14	38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新1年生にむけて3年生が児童館についての話をする。</li> </ul>	
避難訓練	6	72	87	42	24	22		5	3				275	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドショーを見ながら児童館の行事説明をする各学校の先生も来館</li> <li>・地震や火災が実際に起きた時のことを予定し避難経路や避難場所の把握をする。安全な場所の把握など普段から身につける。</li> </ul>	
お誕生日会	7	82	105	54	29	29				2	3		304	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月お誕生日会をしました。この日のおやつは特別メニューになっている。又職員からのメッセージカードをお友だちからわたしてもらい。</li> </ul>	
交通安全指導	2	23	28	10				1			6		74	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北警察署から来ていただき交通安全の話や危険な場所の話、防犯の話などをしてもらい交通安全について学ぶ。</li> </ul>	
実習生によるお楽しみ会	2	21	27	14	7	7		1					77	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回実習生の受け入れをし最後の日の終わりの会の時間にお楽しみ会を企画してもらい楽しい時間を過ごす。</li> </ul>	
児童館でランチ	4	39	49	24	20	11	2						140	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの金曜日を児童館でお昼ご飯を用意してみんなで食べる。高学年が用意を手伝う。</li> </ul>	
卓球体験会	4			16	12	8		1	1				51	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生以上の子どものを対象に佛光大学の卓球部の学生さんに卓球指導をもらった。</li> </ul>	
ウォーターガンであそぼう	1	11	14	5	4	3	6	1	1				48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公園（船岡山公園）を使ってウォーターガンを楽しむ。</li> </ul>	
上賀茂神社作品展	1	6			2	2							10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年が切りえを担当し、低学年は絵具を使って周りを色づけした。</li> </ul>	
ドッジ&ゲームフェスティバル	1	8	8	8	1	1	1	5	2				34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でもあるため近くの児童館で集まりドッジボール大会を実施。他の児童館とチームを組み交流をもつ。</li> </ul>	
書初め会	2	9	14	7	2	5						1	39	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年の始まりに各学年に分かれて書初めを体験。</li> </ul>	
環境紙芝居（立命館大学）	1	10	6	3									23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題について大学生が紙芝居やクイズをしてくれた。</li> </ul>	
各季節の行事 こいのぼり工作	4	13	15	8	3	5							45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各季節に合わせてその月の季節に合わせた工作をみんなで作る。</li> </ul>	
七夕飾り作り	2		6	4	3	1							14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作った飾りや工作は児童館入口などに飾りお迎えにきていただいた</li> </ul>	
クリスマス飾り作り	3	14	15	8	5	3							45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方々に見てもらう。</li> </ul>	
クリスマス会	1	11	15	10	5	3	1	3		2			51		
修了式練習 修了式	1													<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生を送る会。事前にみんなで歌の練習や贈る言葉の練習をし発表。折り紙で作った花束をプレゼントした。</li> </ul>	
(3) 子育て支援機能 学童クラブおたより発行 連絡帳の活用 教育機関との懇談・見学 保護者個人面談 学生スタッフとの懇談 新1年生説明会	毎月 毎日 随時 随時 随時 随時													<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月保護者、各機関への発行。</li> <li>・入学前の保育所などへ訪問。各学期事の各学校との面談、訪問</li> <li>・保護者との個人面談。学校、家での様子や児童館での様子の情報交換</li> <li>・入館する前の保護者への児童館説明。随時開催。</li> </ul>	

\*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること  
 \*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること